

タイの先生と生徒が来結

高校生と交流し日本文化を研修



前場市長やまゆげたと一緒に記念写真

茨城国際親善厚生財団（IIFF）の青少年交流事業として、タイのメーサイ高校の先生と生徒の計4人が来日しました。4人は8日、タイのメーサイ市と姉妹都市を結んでいる結城市の前場文夫市長を表敬訪問しました。

結城市とタイ王国メーサイ市は、平成24年に国際親善姉妹都市を締結しました。姉妹都市締結を記念して、I



緊張した面持ちで取材を受けるタイの高校生

I F F の事業として、両市の先生と生徒を交互に派遣し、今年で2年目になります。

今回来日したのは、教師の

ブーンラット・ピムカレ先生(27)とジャーナン・チャイチット先生(48)、メーサイ高校2年のパンヌポン・タヂュク君(17)、チラッティカン・ケウタさん(16)です。

表敬訪問に訪れた4人に前場市長は「メーサイ市との安定した交流が継続でき、喜んでいる。結城市の子供たちが海外に触れるいい機会。両市の友好がさらに緊密になることを期待している」と歓迎のあいさつをし、チャイチット先生が「日本の教育・

文化を学び、将来、タイのために役立てたい」と述べました。



文化を学び、将来、タイのために役立てたい」と述べました。

文化を学び、将来、タイのために役立てたい」と述べました。



タヂュク君はタイボクシング(ムエタイ)の練習に励み、将来は電気技師になるのが夢で、「メーサイ市と結城市の交流

を深めたい。日本食、特にラーメンを食べたい」と話し、女性警察官になるのが夢のケウタさんは、「日本語を勉強して、通訳や先生もやってみたい」と、期待を語っていました。

8日には、4人はお世話になる結城一高の入学式に出席しました。新入生138人が入学式に出席し、厳粛に進む日本の卒業式を熱心に見ていました。

新聞社やテレビ局が4人を取材するため、結城市役所や結城一高に同行取材をして、新聞やテレビでも報道されました。

2人の先生は22日まで滞在して、教育交流や市内の公共施設を視察します。生徒2人は結城一高の2年生として、5月5日まで授業などを体験します。

タヂュク君は、結城一高でバスケット部に入り、ケウタさんは柔道部に入って同校の生徒と交流を深めながら、日本文化を学んでいます。今年8月には、結城一高の先生と生徒がメーサイ市に派遣される予定です。



桜が満開の下で記念撮影する左からピレカム先生、チャイチット先生、ダヂュク君、ケウタさん